

職員による自己評価

A環境面

- ・全員で丁寧に掃除しているため、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。
- ・人員配置については、少し余裕のある状態である。
- ・療育定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。

B児童への支援内容

- ・内部、外部の研修に職員が参加している。
- ・言葉の出ない子どもが要求できるよう、絵カードを用意したり、感覚過敏の子どものために、イヤーマフが用意されたりしている。
- ・季節の行事に合わせて様々な活動を工夫し、毎月オリジナルの教材も作成している。

C関係機関との連携

- ・就学準備の生徒には引き継ぎ書を作成している。
- ・関係機関と連絡を取り、協力して対応している。
- ・幼稚園に訪問したり、見学に来て頂いたりしている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・ウェビナーや毎月の相談で、頻繁に支援をしている。
- ・保護者の会を開き、保護者同士で話し合う機会を設けた。
- ・日頃から子どもの発達の状況や課題について、保護者に伝えることができている。
- ・毎月のテーマについて、保護者に説明を行っている。

E非常対応

- ・防災訓練を毎月行っている。

保護者による評価

A環境面

- ・「生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境となっているか」についての評価は高い。
- ・人員配置については、多い日もあれば、少ないと感じる日もある。
- ・工作或手遊び程度なら十分なスペースだと思う。走るなどの活動的な時間では、ものが多く狭いので先生が声掛けしても危ない。

B児童への支援内容

- ・活動プログラムが固定化されないような工夫への評価が高い。
- ・活動プログラムが週ごとに違い、逆に慣れることが少ないという意見があった。
- ・子どもも前より明るくなり、私も対処法や目指す姿への近づき方等が教えてもらえ、とても満足しています。

C事業所からの情報発信

- ・月に行われるウェビナーが、勉強になり有難いです。
- ・いつも適切な助言、アドバイスをいただけてありがたいです。
- ・保護者の会は開催されたが、平日の夕方参加が難しかった。休日にしていただけると嬉しいです。
- ・個別で面談する機会が欲しい。

D非常対応

- ・「避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」については、おおむね高評価だが「いいえ」「わからない」という回答もあった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・全員で丁寧に掃除をしており、清潔で心地よい空間が保たれている。
- ・活動プログラムが固定化しないことへの工夫を行っており、ご利用者からの評価も高い。
- ・日頃から子どもの状況を保護者と共有して、助言やアドバイスを行うことができている。
- ・ウェビナーを開催しており、ご利用者からの評価も高い。

【相違点】

- ・職員配置については、少ないと感じるときもある。
- ・療育スペースについては、活動によっては狭いと感じるときもある。
- ・保護者の会を開催したが、時間が合わず参加が難しいご利用者もおられた。
- ・活動が固定化しないような工夫をしているが、慣れるのが難しいという意見もあった。
- ・防災訓練は毎月行っているが、行われていることを知らないご利用者もいるようだった。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- 常に清潔で居心地の良い環境整備が行われている。
- 児童への支援に対する保護者の満足度が高い。
- 保護者への相談やアドバイスが適切に行われている。
- ウェビナーによって、保護者が学びを得る機会を設けられている。

事業所の改善点

- 保護者会の機会を設けられたが、開催日については土日での開催が求められている。
- 個別への面談の機会が求められている。
- 防災訓練においては、限られたご利用者様にのみ、実施する機会が偏らないようにする必要がある。

事業所の改善への取り組み

- 防災訓練については、すべてのご利用様が経験できる機会を設ける必要がある。
- 保護者会については、土日を含め、複数の時間帯や曜日で開催できるように検討する。
- 個別の相談を希望される方には、別室での面談を実施する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- 子どもが満足できるようなサービスを提供できていることが実感できた。
- ウェビナーや保護者会も、保護者が満足できるようなサービスとなっていることが分かり、今後も継続したいと感じた。